

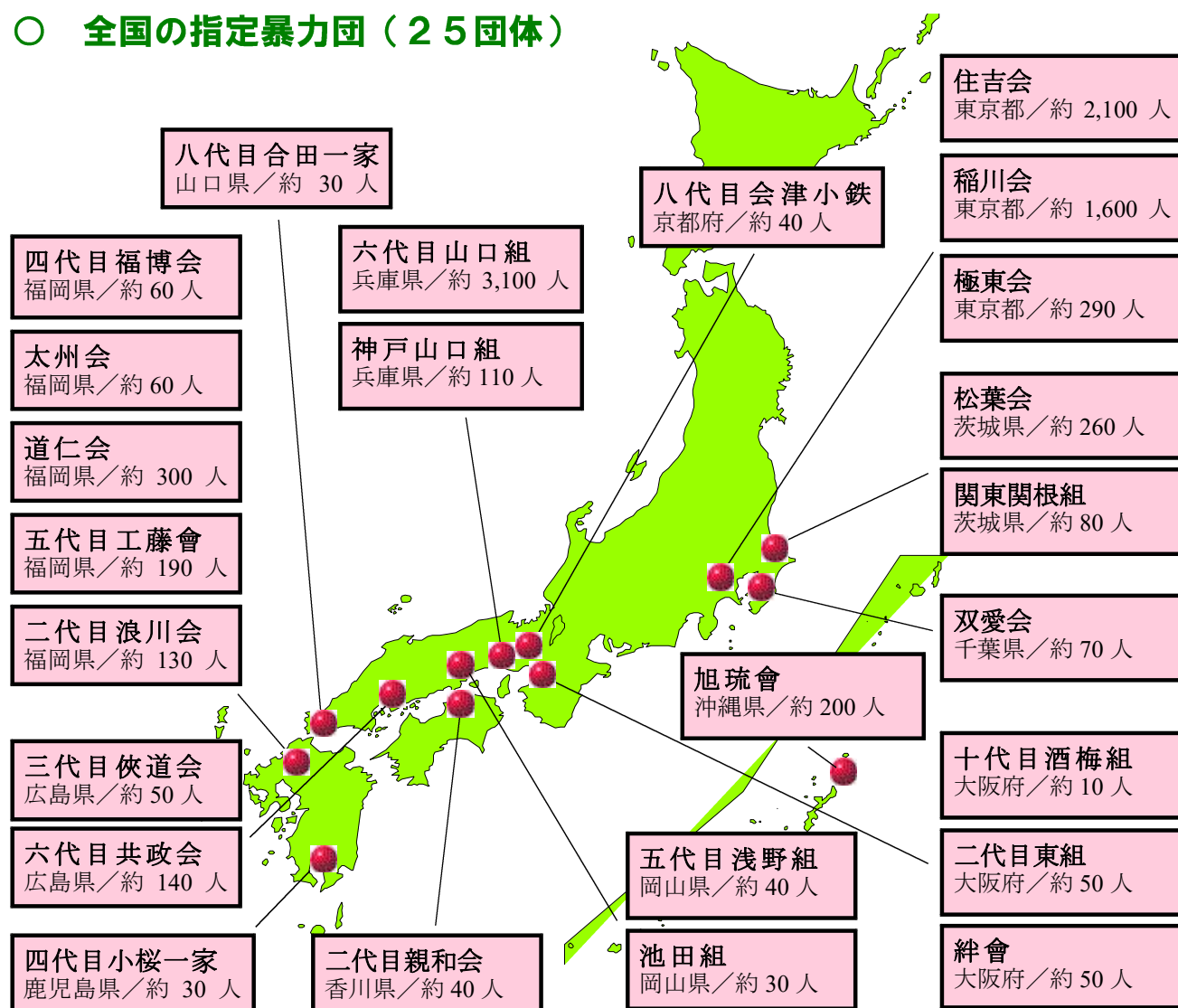
暴力団の勢力

1 全国の情勢

全国の暴力団構成員及び準構成員等（以下、「暴力団構成員等」という。）の数は、平成17年以降減少し、令和7年末現在で約17,600人と、統計が残る昭和33年以降、最少人数を更新しました。このうち、暴力団構成員の数は約9,400人で、前年に比べ約500人減少し、準構成員等の数は約8,200人で、前年に比べ約700人減少しています。

また、主要団体等（六代目山口組、神戸山口組、絆會、池田組、住吉会、稲川会）の暴力団構成員等の数は約12,500人（全暴力団構成員等の71.0%）、うち暴力団構成員の数は約7,000人（全暴力団構成員の74.5%）となっています。

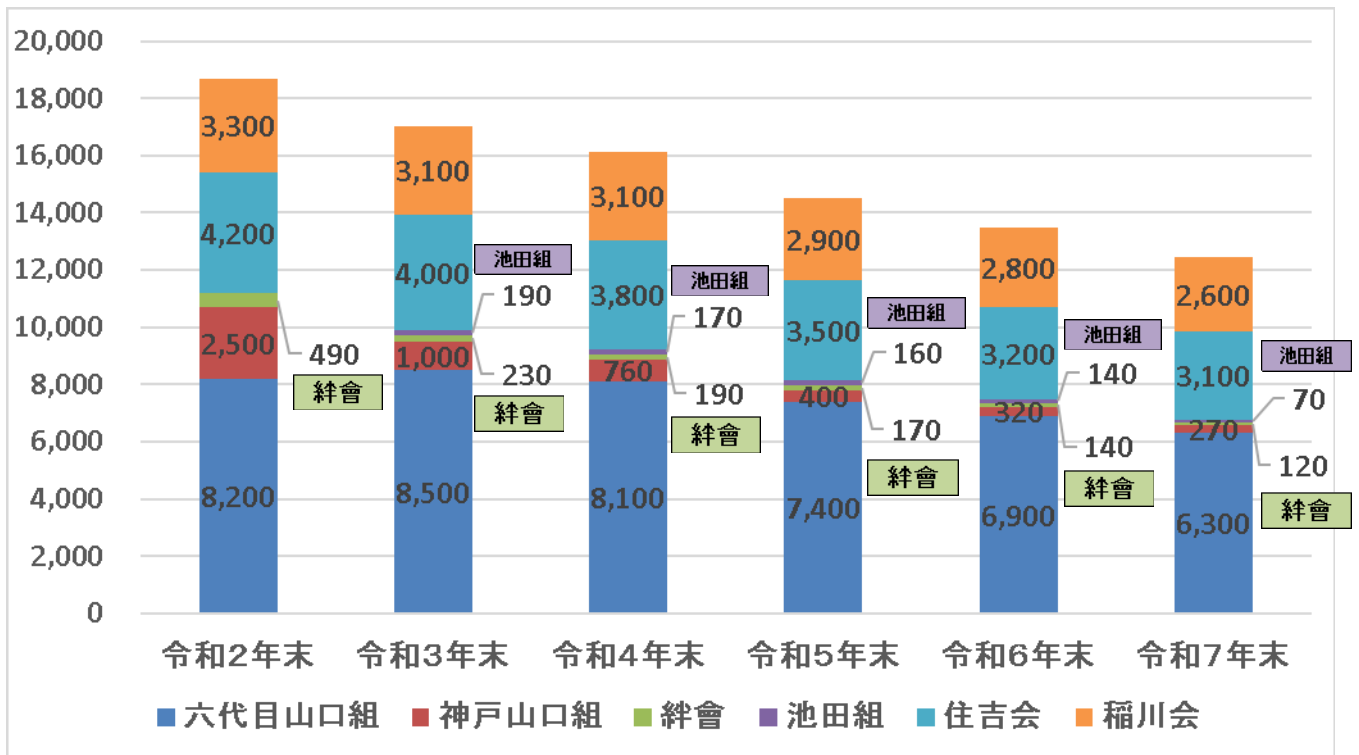
○ 全国の指定暴力団（25団体）



※ 各団体の「名称」は、令和8年3月12日までに官報公示されているもの、「暴力団構成員数」は、令和7年末現在のものを示している。

※ 令和7年末における全暴力団構成員数（約9,400人）に占める指定暴力団構成員数（約9,000人）の比率は95.7%である。

○ 主要団体等の暴力団構成員等の推移（令和2年末～令和7年末）



2 千葉県的情勢

千葉県の暴力団構成員等の数は、令和7年末現在、約750人で、前年と比べ約50人減少しています。このうち、暴力団構成員の数は約480人で、前年と比べ約20人減少しています。

暴力団構成員等の数が最も多いのは住吉会、次いで稲川会、双愛会の順となり、3団体で全暴力団構成員等の約79パーセントを占めています。

これら暴力団は、それぞれ縄張りを主張して活動していますが、県内の主な暴力団の活動地域は右図のとおりです。

